

# 川越市

## 令和4年度決算のポイント



令和5年8月



川越市シンボルマーク

# 1 決算の規模

## 【歳入】

一般会計

**1,303億660万円**

(対前年度比 32億3,074万円減)

## 【歳出】

一般会計

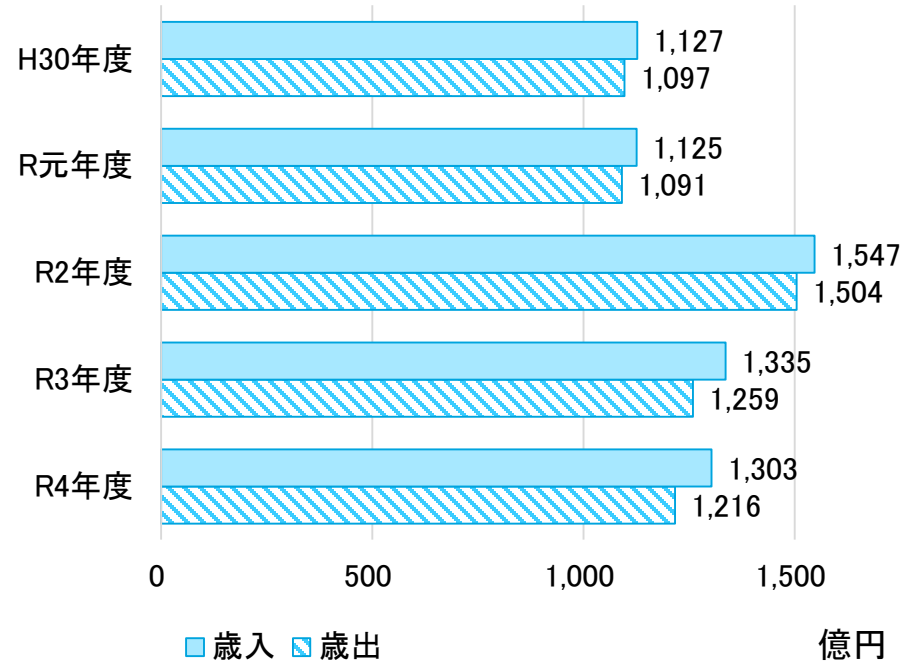
**1,216億3,129万8千円**

(対前年度比 42億8,213万8千円減)

※歳入歳出総額は千円単位とし、単位未満は切り捨てています。

- 対前年度比で歳入は約32億円、歳出では約43億円減少しました。
- 歳入は、市税は増であったものの、国庫支出金や市債の減等により、歳入全体として対前年度比で2.4%減少しました。
- 歳出は、新型コロナウイルス感染症関連の給付金給付事業に係る経費の減等により、歳出全体として対前年度比で3.4%減少しました。

歳入歳出総額の推移(一般会計)



## 2 決算の収支

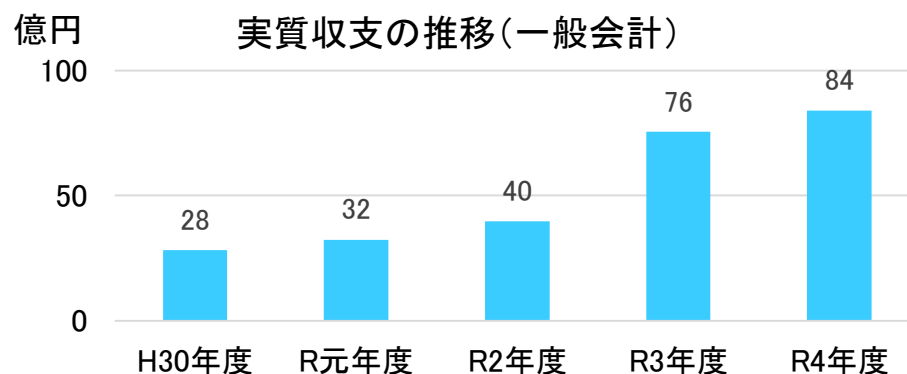
### 一般会計決算収支の状況

単位：千円

年度	歳入総額 ①	歳出総額 ②	形式収支 ①－②＝③	翌年度へ繰り越すべき財源 ④	実質収支 ③－④＝⑤
R3	133,537,340	125,913,436	7,623,903	62,995	7,560,908
R4	130,306,600	121,631,298	8,675,302	273,357	8,401,945
比較	△3,230,740	△4,282,138	1,051,399	210,362	841,037

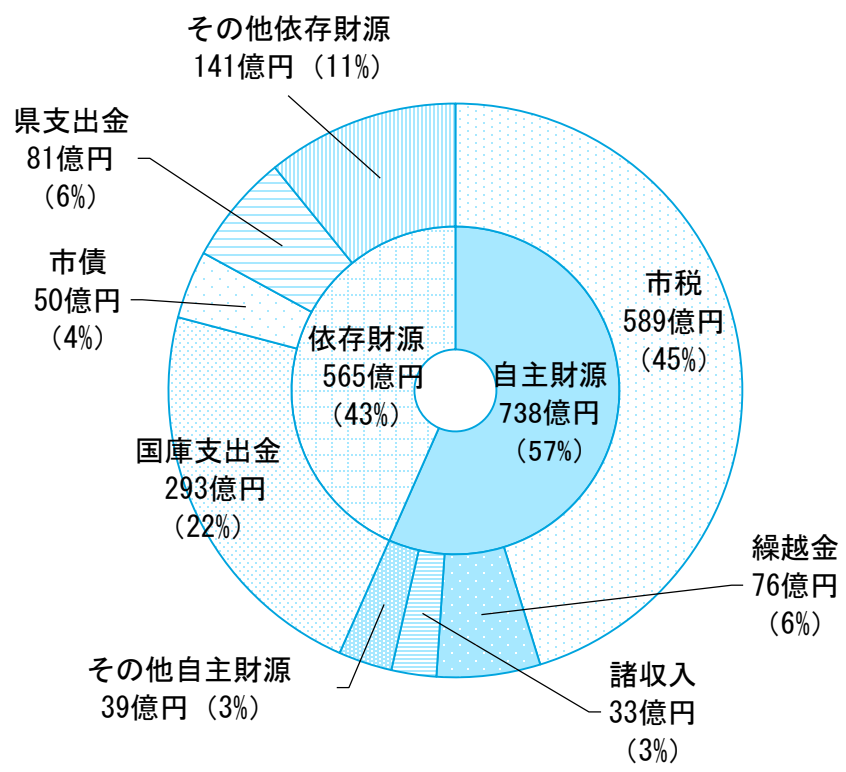
※表中の金額は千円未満切り捨てのため、差引額が一致しない場合があります。

- 歳入総額から歳出総額を差し引き、さらに翌年度へ繰り越すべき財源を除いた実質収支は、84億194万5千円となりました。
- 令和3年度と比較すると、実質収支は8億4,103万7千円の増加です。



# 3 一般会計歳入の内訳

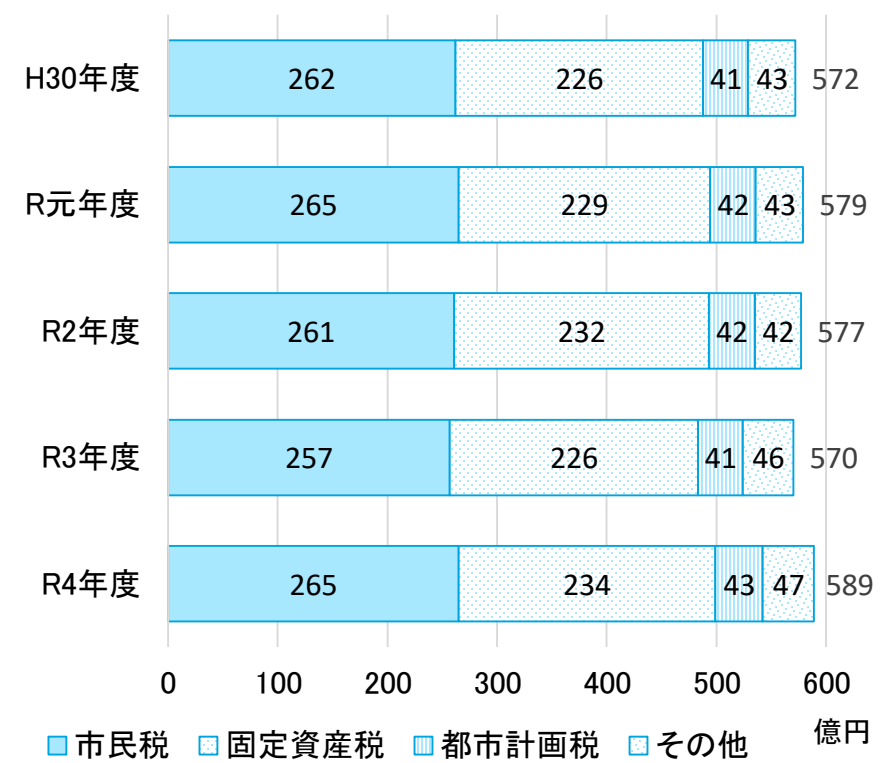
## 歳入



※計数はそれぞれ四捨五入しているため、計が一致しない場合があります。

- 市税、繰越金の増や国庫支出金、市債の減などにより、自主財源の比率が前年度の51%から57%に上昇しました。

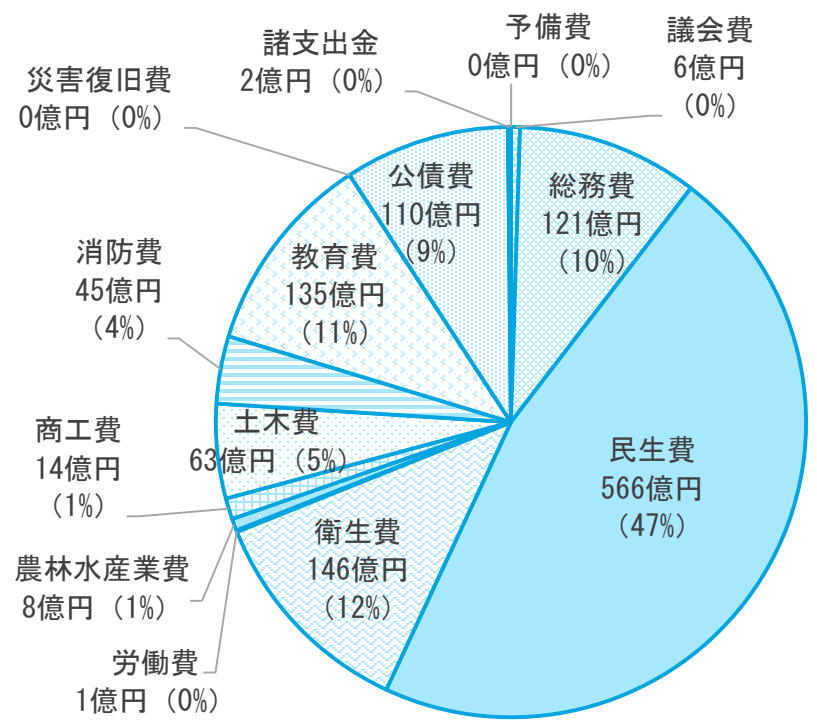
## 市税収入の推移



- 市民税、固定資産税、都市計画税の増などにより、市税収入全体では、対前年度比で約19億円の増となりました。

# 4 一般会計歳出の内訳

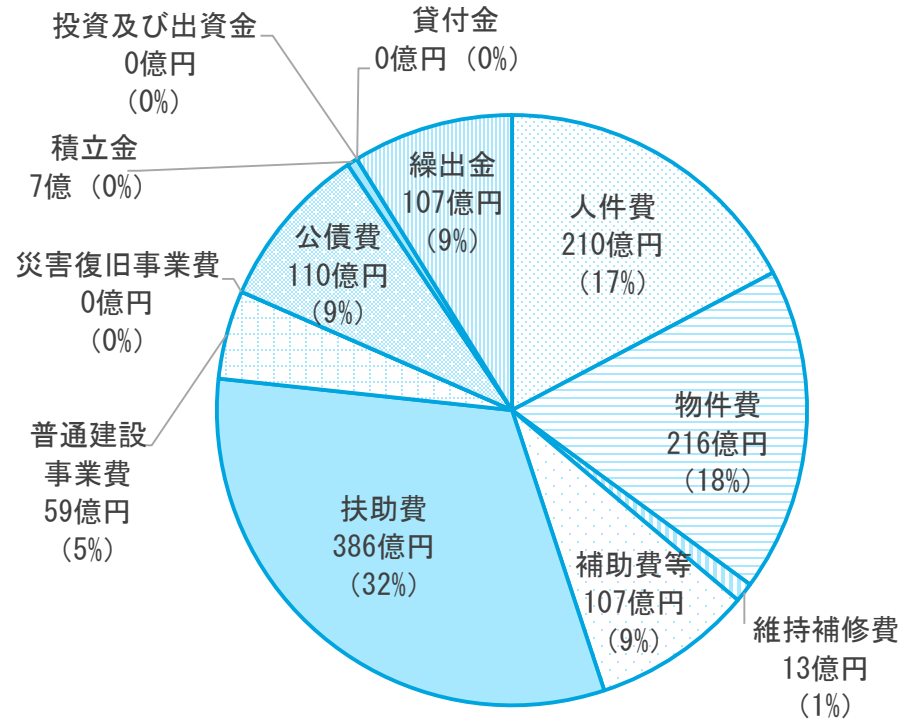
## 歳出（目的別）



※ 計数は、それぞれ四捨五入しているため計が一致しない場合があるほか、5千万円未満の場合は0億円と表しています。

- 民生費は、全体の4割以上を占めています。対前年度比では、約41億円の減となりました。
- 衛生費は、対前年度比で約20億円の減となりました。

## 歳出（性質別）

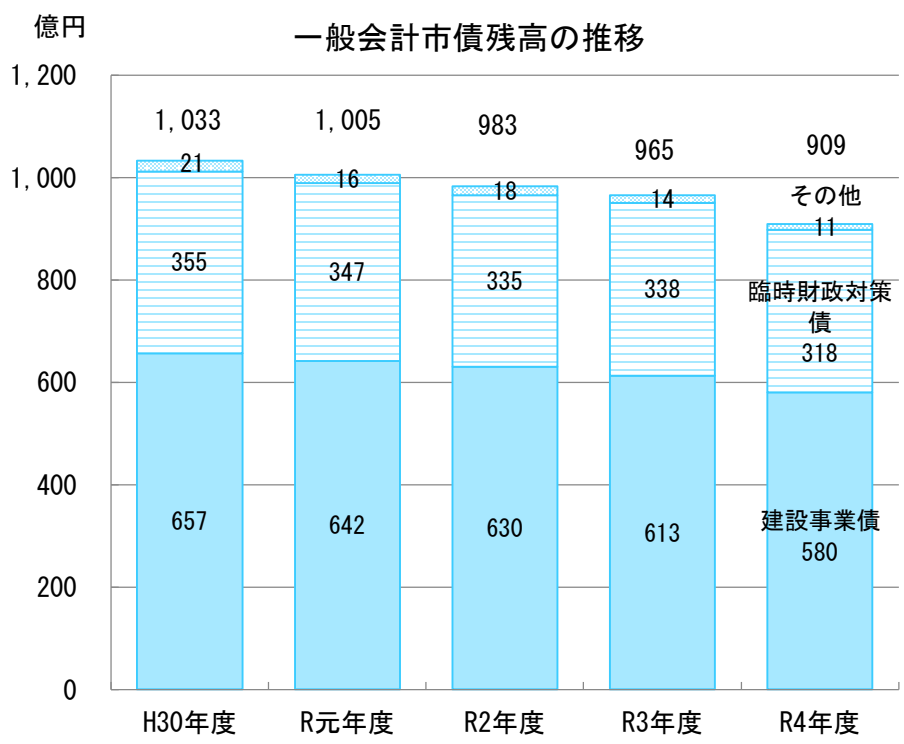


※ 計数は、それぞれ四捨五入しているため計が一致しない場合があるほか、5千万円未満の場合は0億円と表しています。

- 扶助費は、全体の約1/3を占めています。対前年度比では、約37億円の減となりました。
- 普通建設事業費は、対前年度比で約24億円の減となりました。

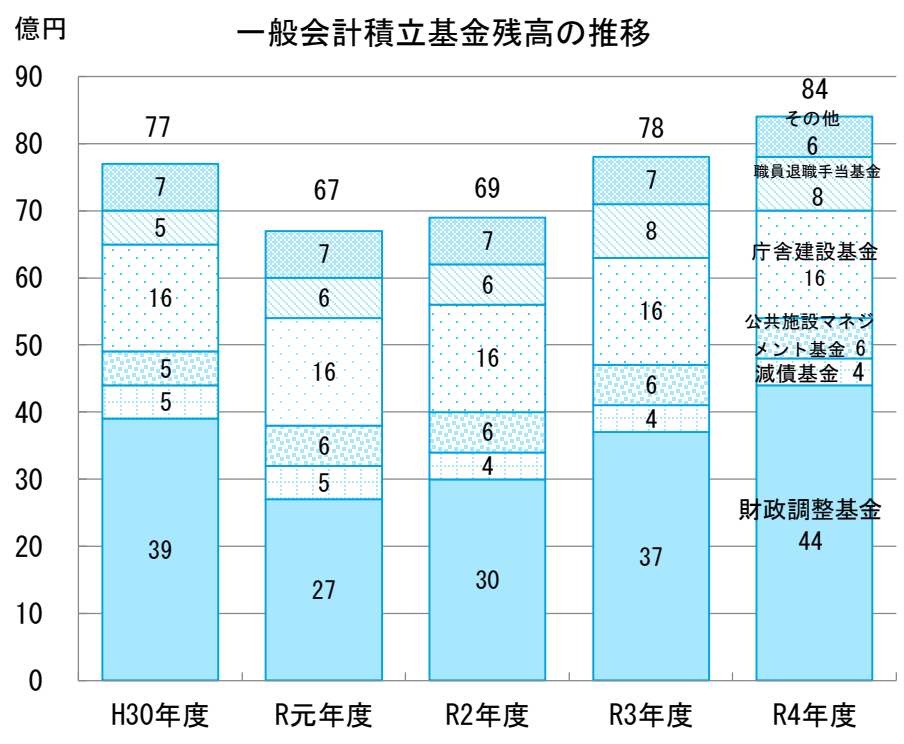
# 5 市債残高及び積立基金の状況

## 市債残高の状況



市債残高は、前年度末より約56億円の減となりました。

## 積立基金の状況



令和4年度末の一般会計積立基金残高は、前年度末より約6億円の増となりました。

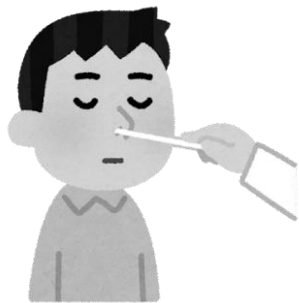
## 6 新型コロナウイルス感染症や物価高騰への取組

国や県の財源を活用しながら、感染症対策や物価高騰対策に取り組みつつ、市民生活・地域経済への支援やICT化の推進等を図りました。

### 医療提供等の体制強化

決算額：877,101千円

委託医療機関が行う保険適用のPCR検査や感染症入院医療費に係る患者負担費用の公費負担のほか、感染症患者等の入院を受け入れる医療機関への補助などを行いました。



### 感染拡大防止対策

決算額：2,543,652千円

新型コロナウイルスワクチン接種を医療機関や集団接種会場で実施したほか、集中的検査の実施のための高齢者施設等への抗原定性検査キットの配布や、市施設における感染症対策に係る物品の購入や設備の改修などを行いました。



### 地域経済への支援

決算額：731,348千円

スマートフォン読み取り型とQRコードを印刷したカード型のプレミアム付電子商品券を発行したほか、農業者、高齢者施設、公共交通事業者等に運営等の継続支援を行いました。



### 市民生活への支援

決算額：4,503,722千円

感染症や物価高騰の影響を受けた家計を支援するため、子育て世帯等に各種給付金の給付などを行いました。



### ICT化の推進

決算額：241,815千円

現金の受け渡しによる接触機会の減少等を図るため窓口や観光施設にキャッシュレス決済やセミセルフレジを導入したほか、公立保育所への保育業務支援システムの導入などを行いました。



## 7-1 主な事業の成果【子ども・子育て、福祉・保健・医療】

- 子ども・子育て分野では、安心して妊娠、出産、子育てができる環境づくりに向けた施策を推進しました。
- 福祉・保健・医療分野では、住み慣れた地域で、一人ひとりが健康でいきいきと安心して暮らせるまちづくりを推進しました。

### HPVワクチン接種の積極的勧奨の再開・接種

子宮頸がんの予防のため、国の方針に基づき、HPVワクチンの定期接種について積極的勧奨を再開するとともに、勧奨が差し控えられている間に接種機会を逃してしまった方を対象にキャッチアップ接種を実施しました。

決算額：77,817千円



(担当部署：保健医療部 健康管理課)

### 子どもの居場所づくり事業

社会的に孤立し困難を抱える子ども・若者を増加させないため、子ども・若者が放課後や休日を安心して過ごせる場として、令和4年6月に子育て安心施設「すくすくかわごえ」において「子どもの居場所」を開設しました。

決算額：539千円



(担当部署：こども未来部 こども育成課)

### 食環境づくり推進事業

健康づくりを応援する「健康づくり協力店」制度の周知・啓発を図り、登録店舗による健康メニューの提供や健康情報の発信等を推進したほか、従業員の健康意識を向上するため、企業と連携し、尿簡易測定結果をもとに減塩や野菜摂取の促進を図りました。

決算額：1,169千円



健康づくり協力店  
認定ステッカー

(担当部署：保健医療部 健康づくり支援課)



# 7-2 主な事業の成果【教育・文化・スポーツ、環境】

- 教育分野では、学校教育における ICT環境の運営体制の充実などを図りました。
- 文化・スポーツ分野では、姉妹・友好都市との親善を深めるための取組などを推進しました。
- 環境分野では、温室効果ガスの排出量削減のための取組などを推進しました。

## 姉妹友好都市記念式典・シンポジウム

交流事業の継承をうたう国内姉妹友好都市との共同宣言への調印式等を行った記念式典のほか、海外姉妹都市への中学生交流団派遣事業にかつて参加した派遣生らによる「都市間交流と若者の未来」について考えるシンポジウムを開催しました。

決算額: 3,345千円



姉妹友好都市シンポジウムの様子

(担当部署: 文化スポーツ部 国際文化交流課)

## 省エネエアコン普及促進事業

家庭における電力消費を抑制し温室効果ガス排出量を削減するため、統一省エネルギーラベル4つ星以上の省エネエアコンの購入に対する補助を行いました。

決算額: 27,250千円



(担当部署: 環境部 環境政策課)

## GIGAスクール運営支援センター業務委託

教職員からの問い合わせや障害発生時の一次対応のほか、学校の教職員授業準備支援やネットパトロール等の業務を委託し、市立学校におけるICT環境の運営体制の充実を図りました。

決算額: 48,284千円



(担当部署: 学校教育部 教育指導課)

# 7-3 主な事業の成果【都市基盤・生活基盤、地域社会・市民生活】

- 都市基盤・生活基盤分野では、歴史的景観の形成による景観まちづくりや、浸水・内水による被害への対策などを推進しました。
- 公園の整備などによる生活環境の向上を図りました。

## 初雁公園整備

市制施行100周年に合わせ、川越城本丸御殿周辺において休憩所や広場等の整備を行い、川越市民の日の令和4年12月1日から供用を開始しました。

決算額：225,966千円



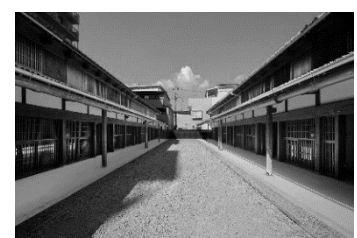
初雁公園本丸御殿周辺広場開園式典の様子

(担当部署：都市計画部 公園整備課)

## 旧川越織物市場整備

旧川越織物市場では、クリエイター等の創業や新たなビジネスの創出活動を支援する文化創造インキュベーション施設として令和6年度から供用を開始するため整備を進めています。令和4年度は、東棟・西棟等の整備を完了し、旧栄養食配給所等の整備に着手しました。

決算額：489,549千円



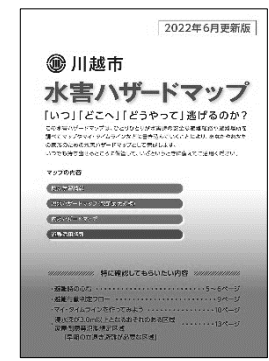
整備完了後の旧川越織物市場東棟・西棟

(担当部署：都市計画部 都市景観課)

## 水害ハザードマップの更新・配布

洪水浸水想定区域図(想定最大規模)、水害時の避難行動、避難情報の種別等に関する最新情報を反映し、令和4年6月に「水害ハザードマップ」を更新するとともに、広報川越(令和4年7月号)と併せて全戸配布を行いました。

決算額：11,114千円



(担当部署：建設部 河川課)

## 7-4 主な事業の成果【産業・観光・その他】

- 産業・観光分野では、新型コロナウイルス感染症や物価高騰の影響で落ち込んだ地域経済の回復に向けた取組を推進しました。
- 市制施行100周年会議、市内各団体、市がそれぞれ主体となり、市制施行100周年の記念事業などを実施しました。

### 市制施行100周年記念事業

市制施行100周年会議に負担金を支出し、同会議の主催で記念事業、PR事業、市民団体等の記念事業への支援、記念誌制作などを実施したほか、市制施行100周年記念事業基金等を活用し、市主催で100周年記念の特別事業などを実施しました。

決算額: 8,980千円



市制施行100周年記念式典の様子

(担当部署: 総合政策部 政策企画課)

### プレミアム付電子商品券事業

原油価格や物価高騰の影響を受けた市内商店、飲食店等における販売促進や、物価高騰に直面した市民の消費生活の支援を図るため、プレミアム率が30%のプレミアム付電子商品券を発行しました。

決算額: 427,223千円



(担当部署: 産業観光部 産業振興課)

### グリーンツーリズム整備推進

農業ふれあいセンターについて、木質化工事等の改修整備を行い、令和4年11月にグリーンツーリズム拠点施設としてリニューアルオープンしました。

オープン後は、運営管理の一部を民間事業者に委託しました。

決算額: 136,317千円



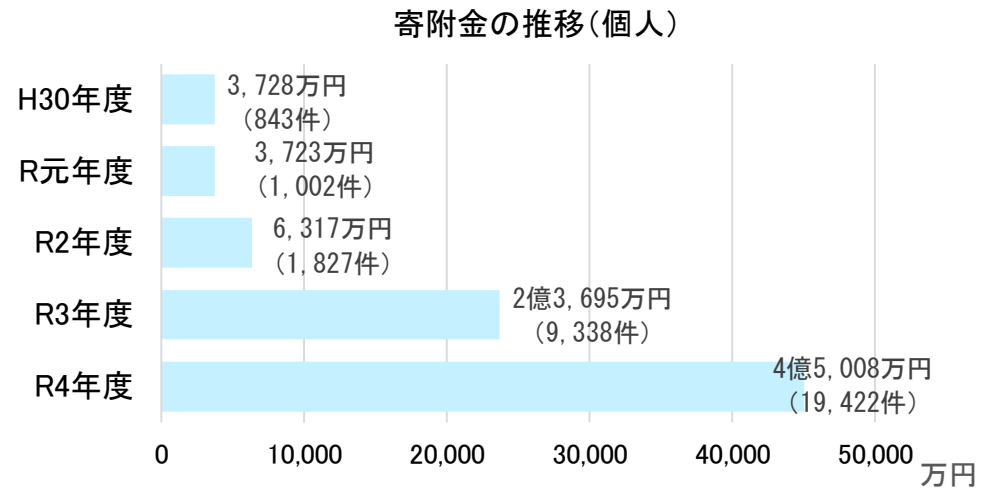
グリーンツーリズム拠点施設

(担当部署: 産業観光部 農政課)

# (参考)ふるさと納税の状況

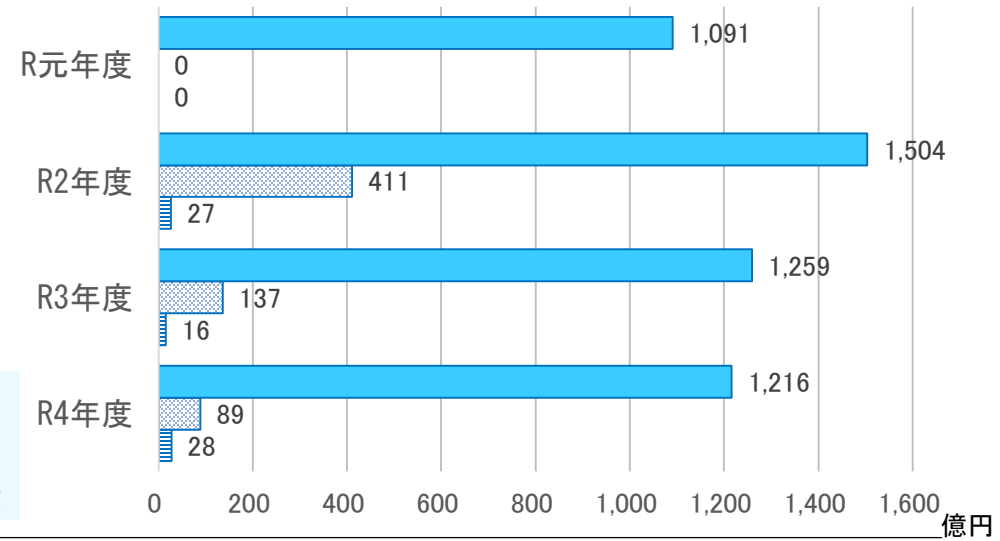
令和4年7月1日から、使われなくなった楽器を、自治体を通じて学校や音楽団体などへご寄附いただき、その寄附楽器の査定価格が税金控除される「楽器寄附ふるさと納税」を開始しました。

令和4年度は、楽器のふるさと納税を含め、19,422件、4億5,008万円のご寄附をいただきました。



# (参考)新型コロナウイルス感染症・物価高騰対策関連経費の状況

新型コロナウイルス感染症及び物価高騰対策関連経費は、令和2年度の約411億円から年々減少しており、令和4年度は、約89億円でした。これに伴い、歳出総額も減少が続き、コロナ禍前の規模に近づきつつあります。



【グラフ凡例】  
 ■ 歳出総額…①  
 ■ ①のうち新型コロナウイルス感染症及び物価高騰対策関連経費…②  
 ■ ②のうち新型コロナウイルス感染症対応地方創生臨時交付金が財源である経費